

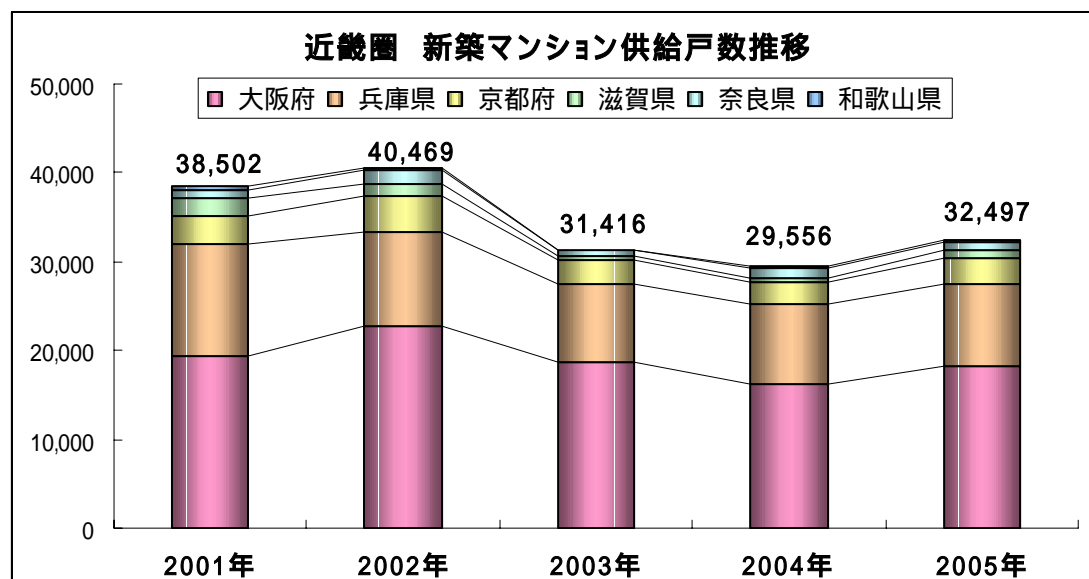
東京カンテイ マンションデータ白書 2005 を発表
近畿圏・供給減少に歯止め、各府県で増加傾向
 分譲価格は大底を脱し、じりじりと上昇傾向に

大阪府を中心に各府県とも供給量は増加傾向

2002年から2004年にかけて近畿圏では供給戸数が減少していたが、2005年にはその傾向に歯止めがかかり、3年ぶりに前年比増加となった。供給戸数は32,497戸。奈良県を除く2府3県で前年比増加しており、大阪府が18,263戸（同112.0%）と大きく回復したのをはじめ、兵庫県は9,295戸（同104.9%）、京都府は2,830戸（同111.3%）、滋賀県は839戸（同152.3%）、和歌山県は270戸（同120.5%）と前年比で大きく供給を増加させた。

新築マンション供給戸数の推移(単位:戸)

		1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	05対前年比
近 畿 圏	大阪府	18,551	21,108	18,157	16,820	19,414	18,994	19,435	22,763	18,711	16,301	18,263	112.0%
	兵庫県	12,148	16,194	13,026	9,666	13,237	14,332	12,516	10,515	8,779	8,858	9,295	104.9%
	京都府	4,275	3,286	3,179	3,028	2,741	3,347	3,254	4,222	2,712	2,542	2,830	111.3%
	滋賀県	1,881	1,712	1,423	994	908	1,736	2,065	1,150	504	551	839	152.3%
	奈良県	2,402	3,246	764	1,144	1,538	1,811	807	1,585	531	1,080	1,000	92.6%
	和歌山県	186	72	337	103	240	379	425	234	179	224	270	120.5%
計		39,443	45,618	36,886	31,755	38,078	40,599	38,502	40,469	31,416	29,556	32,497	110.0%
首都圏 計		91,973	91,722	79,957	74,669	93,927	104,226	97,729	96,426	88,936	89,380	87,444	97.8%
中部圏 計		15,330	14,204	12,332	11,600	11,789	12,688	13,152	12,765	11,515	10,485	10,731	102.3%
三大都市圏 計		146,746	151,544	129,175	118,024	143,794	157,513	149,383	149,660	131,867	129,421	130,672	101.0%

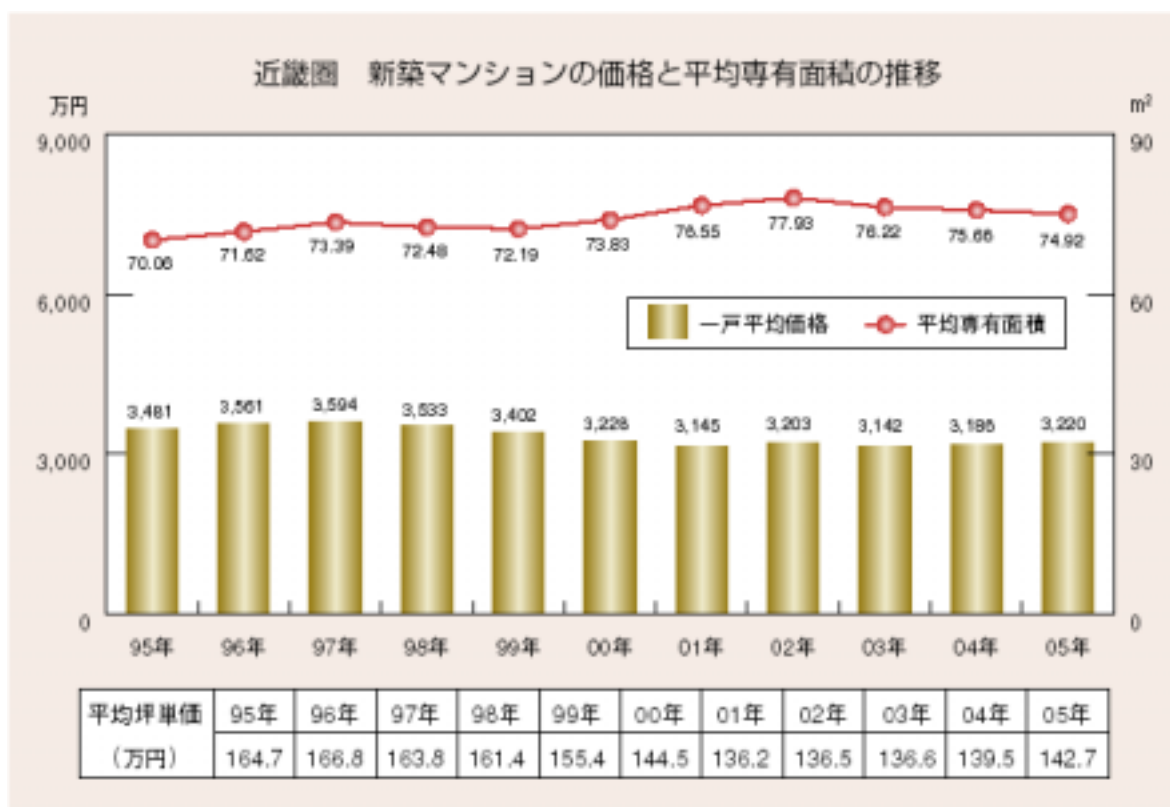


価格はじりじりと上昇傾向に

2005年は、3,220万円(前年比101.1%)と、価格は2004年以降2年連続して僅かながら上昇した。平均坪単価も142.7万円(同102.3%)とやや上昇しており、**実質的な値上がり状態が続いている。**

平均専有面積は74.92㎡(同99.0%)と3年連続で僅かに縮小した。

平均坪単価は142.7万円(同102.3%)と、3年連続で僅かに上昇しており、まだ「安定傾向」と表現すべき範囲内ではあるが、**近畿圏の実質の価格はじりじりと上昇する傾向にある。**



発行 株式会社 東京カンテイ

リリース日 2006年1月31日(火)

発表場所 国土交通省記者会
大阪建設記者クラブ
名古屋商工会議所記者クラブ

本記事の無断転載を禁じます。